

平成26年度
全国学力・学習状況調査の結果概要

忠岡町教育委員会

平成26年度全国学力・学習状況調査 忠岡町結果概要公表について

(1)調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2)調査の対象学年

- 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
(4月22日に調査を実施した学校・児童生徒数 大阪府:1,009校 74,920人)
- 中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年
(同 大阪府:467校 70,535人)

(3)調査の内容

- ①教科に関する調査
 - ・主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A]
 - ・主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B]
- ②質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

(4)調査の方式 悉皆調査

(5)4月22日に調査を実施した忠岡町の学校・児童生徒数

○実施校数

- ・小学校:2校
- ・中学校:1校

○実施児童生徒数

- ・小学校:178人
- ・中学校:156人

公表に関する配慮事項について

平成26年度全国学力・学習状況調査実施要領に基づき、次の点に配慮し公表する。

- 忠岡町教育委員会は、保護者や地域の住民に対し、町内における教育及び教育施策に関する説明責任を果たす観点から、調査結果を公表する。
- 本調査の目的及び調査結果が学力や学習状況、生活状況の特定の一部である。
- 学校ごとの児童生徒の学力の結果が明らかになる公表は行わない。
- 本町は、公立中学校が1校であるため、町教育委員会において公表することが、学校単位の公表となるため、中学校の学力の結果は非公表とする。
- 本町の特徴的な課題と改善方策を公表する。

全体の概要について I (学力に関する調査より)

- 【小学校国語】・故事成語の意味と使い方を理解すること ・立場を明確にして、質問や意見を述べること
- 【小学校算数】・作図に用いられている図形の約束や性質を理解すること
 - ・全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる
- 【中学校国語】・話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすこと
 - ・文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くこと
- 【中学校数学】・一次関数の変化の割合を理解すること
 - ・グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる

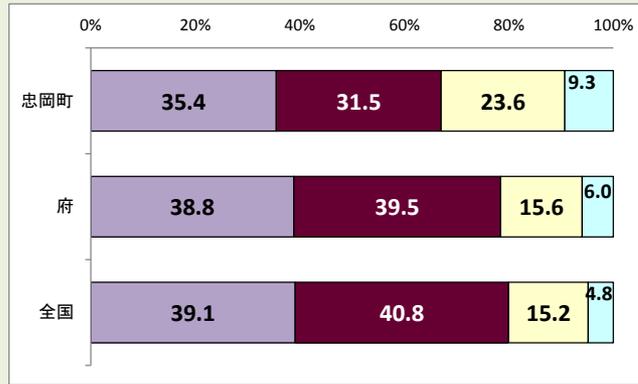
全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町学力向上プラン 重点目標にかかる概要～

①【授業内容がわかる子どもをふやす】 「国語・算数(数学)の授業の内容はよくわかりますか」・・・国語と算数(数学)の合算データ

小学校では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という割合は65%以上、中学校では、60%以上である。

小学校

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



中学校

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



②【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】 「普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」

小学校では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という割合は65%以上、中学校では、80%以上である。

小学校(5年生までに受けた授業)

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



中学校(1,2年生のときに受けた授業)

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町学力向上プラン 重点目標にかかる概要～

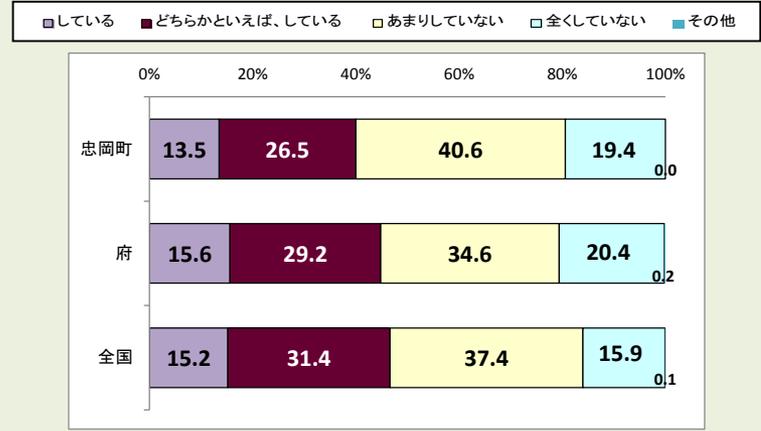
③【家で計画的に学習する子どもたちを育てる】「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

「している」「どちらかといえば、している」割合は、小・中学校とも50%以下である。

小学校



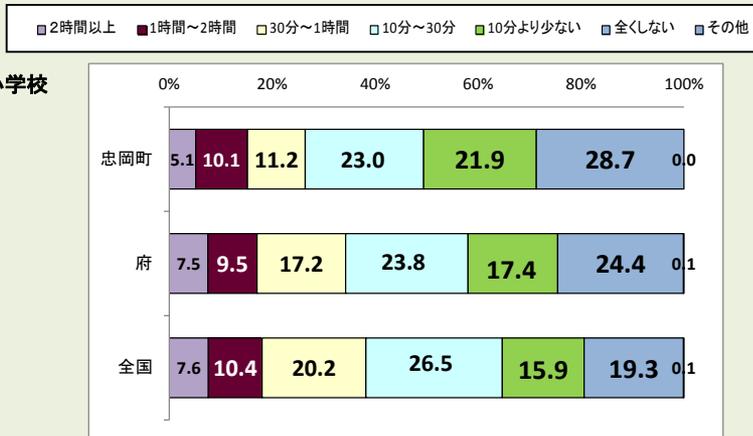
中学校



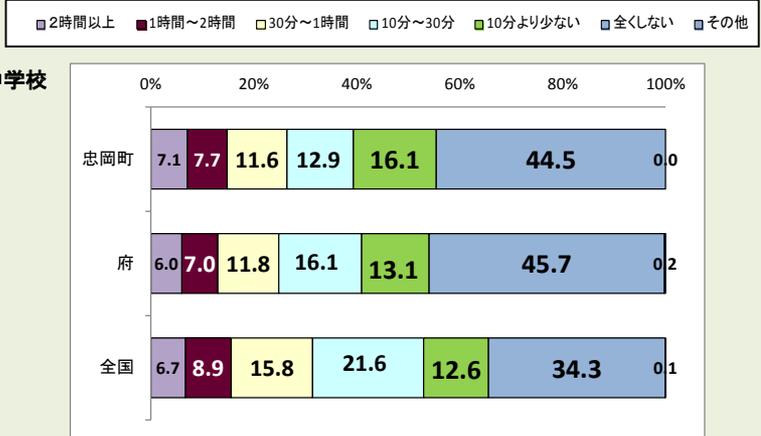
④【読書に親しむ子どもたちを育てる】「家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか」

「全くしない」割合は、小・中学校ともに全国の割合を上回るが、小学校では「30分以上読書をしている割合」のポイントがH25年度に比べ6.9ポイント上昇している。

小学校



中学校



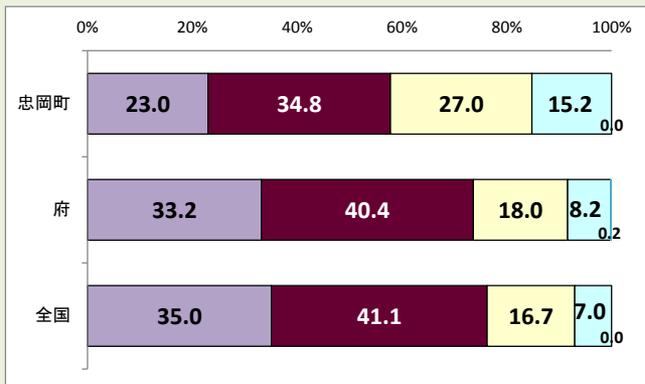
全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町学力向上プラン 重点目標にかかる概要～

⑤【自分には良いところがあると思う子どもたちを育てる】「自分には良いところがあると思いますか」

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合は、小・中学校とも60%以下である。

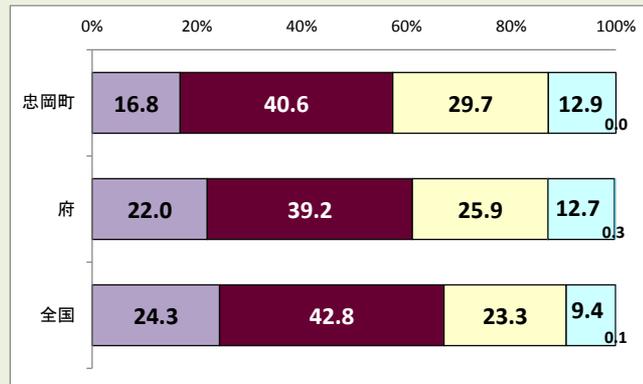
小学校

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



中学校

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



忠岡町における学力・学習状況に関する施策

- 学力向上支援事業(全小・中学校)・・・小・中学校における教育内容の充実と指導方法の工夫改善を図っています。
- 学ぶ楽しさを育む推進事業(小1・2)・・・小学校1・2年生児童に落ち着いた学習環境の提供と基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っています。
- 学力向上サポーター配置事業(小3・4)・・・基礎・基本の定着を図り、「確かな学力」を育むためのきめ細やかな学習支援を行っています。
- 小学校読書活動推進事業(全小学校)・・・小学校に司書を配置し子どもたちの興味関心を高め、本に接する機会を増やしています。
- 学力検査CRTⅡ(小4)・・・児童の基礎・基本における学習のつまずきの把握と効果的な指導につなげています。
- Hyper-QU(小5)・・・よりよい学級集団づくりに向けた課題を把握することにつなげています。
- 授業力向上支援・・・教員の授業力向上に向けた授業観察、及び指導・助言を行っています。
- 授業力向上のための教員研修・・・教科・領域・校種の枠をこえた授業改善と校内研修を活性化につなげています。
- 学力向上担当者会・・・学力にかかわる情報共有と各校における学力向上を推進しています。
- 小・中学校生徒指導連携会議・・・小・中学校の9年間を見通した取組の共有と連携を推進しています。